

パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める決議

イスラム組織ハマスとイスラエルによる戦闘が始まり2か月余が経過した。双方の応酬は、パレスチナ自治区において、人命を深刻な危機的状況にさらすとともに、市街地に甚大な被害をもたらしており、ガザ地区ではすでに1万8千人を超える民間人が犠牲となり、うち7割が女性と子どもたちと報じられている。令和5年12月12日の国連安全保障理事会では、停戦決議に153か国が賛成。日本も賛成をした。

藤沢市議会は、これ以上、人道危機が悪化しないよう、国際人道法に基づき、即時停戦に向け、日本政府がより積極的な役割を果たすよう強く求める。

以上、決議する。

令和5年12月22日

藤 沢 市 議 会